

柏市がん対策の経緯と今後の取り組み

1 柏市がん対策プロジェクトと柏市保健衛生審議会がん対策専門分科会

市では、平成20年4月の中核市移行を契機に、平成20、21年度の2年間にかけて「柏市がん対策プロジェクト」として、がんに関する様々な事業を試行的に実施してきました。また、同時期にがんに関する専門的な審議機関「柏市保健衛生審議会がん対策専門分科会」を設置し、同プロジェクトで取り組んできた事業の検証、がんに関する関係機関の役割や効果的な連携、今後の事業展開等を審議し、その結果を「柏市保健衛生審議会・がん対策専門分科会報告書」としてまとめました。

同報告書では、「がんを予防でき、たとえがんになってもその人らしく安心して住み慣れた地域でずっと暮らせるように、地域ぐるみで支えるまち 柏」を提唱し、今後のがん対策を「予防と啓発」、「検診・早期発見」、「治療から緩和ケアまで」、「地域相互支援」の4つの枠組みごとに「対策の視点」を示し、それに沿って施策を展開しております。

2 平成22年度以降のがん対策の動き

平成23年3月に柏市がん対策基本条例が制定され、この条例に基づき実施する市のがん対策を効果的に推進するため、庁内に「柏市がん対策検討会議」を設置し、定期的に会議を開催しています。

柏市がん対策検討会議では、庁内関係部署、がん診療連携拠点病院及び千葉県がん診療連携協力病院を構成員とし、各部署間の事業の連携や、がん患者や家族が相談に来た際、状況に応じて適切な相談機関や制度に迅速につなげるといったことを目的に、情報の共有等を行ってきました。

また、年に1回程度、市議会議員との意見交換も行ってきています。

さらに、柏市がん対策基本条例により、がん対策について市議会に年1回の報告をすることが義務付けられており、取り組み状況を毎年報告しています。

3 がん対策推進の方向性

国や県が示す、今後のがん対策推進の方向性を確認し整合性を図ることも念頭に、今後も、柏市保健衛生審議会がん対策専門分科会報告書に示された対策の視点に基づき、がん対策への取り組みを、より一層推進することを基本的な考え方に据え、がん対策の充実を図っていきます。